

2025年度ゼミ（演習1）要覧

担当者名	中田瑞穂
演習テーマ	身近な政治課題を考える—ヨーロッパと日本の比較
演習の内容	私たちの身の回りの社会保障、ジェンダー、外国人労働者、難民などの政治問題をじっくり学びつつ考える演習です。移民、外国人労働者、難民と、もともとの住民たちの間の関係についての多文化主義政策とその変容、ジェンダーや社会保障政策の問題、これらの問題をわたしたちが理解する手段になっているメディアと市民教育の問題を順番に取り上げます。方法としては、政治学や歴史学からアプローチします。日本の政治問題を理解するために、ヨーロッパ諸国ではどのような政策がとられているのかを学び、比較対象にします。二年次にはゼミ生の関心に合わせて、これらのテーマの中で一つ選んで勉強する予定です。
テキスト・参考書	テーマに合わせて決定
成績評価の基準	要約、レジュメ、プレゼン 50%、授業参加 25%、レポート 25%
校外実習	実施しない
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	
選考方法	オフィスアワーでの面談と志望申込書。志望をする方は必ず一度オフィスアワーに来て質問し、自分の学びたいことがこの演習で学べるかどうか確認してください。
小論文 (テーマ、書式・枚数、提出期限・方法)	小論文は課しませんが、申込書に自己紹介や本演習を志望する理由を詳しく書いてください。
メールアドレス	<a href="mailto:mnakada@k.meijigakuin.ac.jp">mnakada@k.meijigakuin.ac.jp</a>
説明会・オフィスアワー	5月13日(火)と20日(火)の12時35分から13時30分の間に8406号室の研究室にいらしてください。自由入退出可。上記以外の日時を希望する方はメールをください。対面ないしZOOMで対応します。
履修済・履修中であることが望ましい授業	はじめて学ぶ社会と政治ないし社会科学入門、比較政治学を履修ないし履修予定であることが望ましいです。
2026・2027年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	あり（2026年度）
認定留学期間中（演習2・3開講学期中の）の遠隔指導*	可
備考	

\*「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。